

20 mm

【1行空ける】

# 研究発表会原稿作成要領\*

【1行空ける】

○海音 次郎†, 海音 太郎 (海音大), 海音 花子 (海音電気)

【1行空ける】

## 1. 原稿について

講演論文集は、著者が提出した原稿の PDF ファイルをそのまま B5 判に縮小(約 79 %)し、オフセット印刷により作成します。したがって『原稿の書き方』が不相当であると、刷上りが不鮮明になるので、原稿の作成に当たっては十分留意し、“きれい”に仕上げてください。なお、原稿受領後の訂正は受け付けませんので、十分に推敲の上、ご提出ください。

## 2. 原稿サイズ・ページ数について

用紙サイズは A4 判とし、また上下左右とも余白を 20 mm とってください。

ページ数は、講演 1 件当たり 2 ページまたは 4 ページとします。

## 3. タイトル・著者名・所属について

### 3.1. タイトル

タイトルは、1 ページ目のはじめに 1 行空けてから書き始めてください。和文の場合(MS)ゴシック、英文の場合 Arial 書体を原則とします。また、大きさは 14 ポイント程度とします。

### 3.2. 著者名および所属

著者名は、タイトルとの間に 1 行空けてから書き始めてください。和文で(MS)明朝、英文で Times New Roman の書体を原則とします。また、フォントサイズは 11 ポイント程度とします。

所属は著者名の後に丸カッコ( )内に記述し、省略形で記述してください。

単独・連名のどちらの場合も講演者に○印を付けてください。また、若手研究者優秀論文発表賞およびベストポスター賞の受賞対象となる場合には◎印を付けてください。対象となる発表者は 35 歳以下となります。ただし、過去 2 回受賞した者は対象外とします。

### 3.3. フッター

和文の場合には、タイトル最後に\* (アスタリスク) をつけ、1 ページ最下部にフッターとして英文タイトル・著者・所属を記述してください。英文、和文とも、著者の中から代表者 1

名の右肩に† (ダガー) をつけ、メールアドレスを最下部に記述してください。フッターの書体は Times New Roman とし、フォントサイズは 9 ポイントを目安とします。ただし、フッターの領域の下に余白 20 mm を確保してください。

## 4. 書式スタイルについて

### 4.1. 全体の設定

本文は 2 段組みとし、1 ページ当たり 40 行を目安とします。各スタイルでの書体およびフォントサイズは次項以降で詳細を示します。Table 1 に推奨する書体とフォントサイズを掲載します。

和文における句点・読点は、全角で「,」「.」を使用してください。

数字・英字は全て半角を原則とします。

### 4.2. 本文について

本文の書体は和文で(MS)明朝、英文で Times New Roman の書体を原則とします。また、大きさは 11 ポイント程度とします。

### 4.3. 見出しについて

節の見出しは、和文で(MS)ゴシック、英文で Arial の書体を原則とします。また、大きさは 12 ポイント程度とします。

項の見出しは、和文で(MS)ゴシック、英文で Arial の書体を原則とします。また、大きさは本文と同じ 11 ポイント程度とします。

### 4.4. 数式について

例えば、 $x/\{y+(t/2)\}$  のような短い式であれば本文と同一行に書いても構いませんが、次のような長い式や、数式番号を割り当てたい式は、別行としてください。

Table 1 Suggested text styles and font sizes.

スタイル	書体	サイズ
タイトル (和文)	(MS)ゴシック	14 pt
タイトル (英文)	Arial	14 pt
著者名, 本文 (和)	(MS)明朝	11 pt
著者名, 本文 (英)	Times New Roman	11 pt
フッター	Times New Roman	9 pt

\* Instruction for the proceedings of Marine Acoustics Society of Japan  
Jiro Kaion, Taro Kaion (Kaion Univ.), Hanako Kaion (Kaion Electric Co., Ltd)

† jkaion@masj.jp

20 mm

$$y = y_0 + \frac{sh^2}{1 + \sqrt{1 - (K+1)s^2h^2}} \quad (1)$$

本文中で、数式番号を参照する場合は、Eq. (1) というように”Eq.”を付けてください。ただし、本文中から参照されない場合は、数式番号を付ける必要はありません。

#### 4.5. 図表について

図では Fig. 1, 表では Table 1 と番号を割り振ったキャプションを付けてください。図キャプションは図の下, 表キャプションは表の上に記述してください。キャプションは英文を原則とします。

講演論文集は白黒で印刷されます。よって、図は白黒印刷されても判別がつくように色づけしてください。

PDF ファイル変換時に図・表・写真の劣化がないか、必ず確認してください。

#### 4.6. 参考文献について

本文中の引用個所の右肩に<sup>1), 2), 4)</sup>のように通し番号を上付き文字で挿入し参照文献があることを示すとともに、その参照文献の詳細を原稿末尾に引用した順に一括して列挙してください。

文献書式は、海洋音響学会誌投稿規定に従うこととします<sup>1)</sup>。ただし、記述スペースに限りがあるため、著者名は第一著者のみ記述し、タイトルを省略するのは構いません<sup>3), 5)</sup>。

### 5. PDF ファイルへの変換

Adobe Acrobat などを用いて原稿を PDF 形式ファイルに変換してください。

変換設定ではできるだけ高品質そして下さい。例えば、Adobe Acrobat では「プレス品質」を選択してください。

数式等で特殊なフォントを用いている場合には、PDF ファイル内にフォントを埋め込むように設定してください。Adobe Acrobat では「プレス品質」にすると自動的に埋め込まれます。

PDF 変換後には、下記に注意してご確認ください。

- A) レイアウトのずれがないか
- B) 文字化けがないか
- C) 図・表・写真の劣化がないか
- D) 余白が上下左右で 20 mm あるか

### 6. テンプレートファイルについて

MS Word 用のテンプレートファイルを用意していますので、ご利用ください。必要に応じて文字サイズ等の調整を行い、見やすい原稿を心掛けていただくようお願いいたします。

ただし、ページ余白の設定、タイトル、著者名、フッターの設定など、3 節で示した必要最低限の事項は必ず記載してください。

### 7. 提出先

原則として E-mail での提出とし、下記のアドレスに原稿 PDF ファイルを添付して送信してください。

**masj2014meeting@gmail.com**

E-mail による提出が困難な場合のみ、CD-R メディアに原稿 PDF ファイルを保存し、下記住所まで郵送してください。

239-8686

神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

神奈川大学工学部 電気電子情報工学科

土屋 健伸 宛

TEL: 045-481-5661, FAX: 045-491-7915

### 8. 提出期限

下記の期限必着をお願いいたします。

**2014 年 4 月 7 日 (月) 厳守**

### 参考文献

- 1) 海洋音響学会編集委員会, “海洋音響学会誌投稿規定”, 海洋音響学会誌, 35(1), 69-77 (2008).
- 2) 海音次郎, 海音太郎, 海音花子, “海洋音響学に関する研究”, 海洋音響学会誌, 99(1), 1-10 (20xx).
- 3) 海音他, 海洋音響学会誌, 99(1), 1-10 (20xx).
- 4) J. Kaion, T. Kaion, and H. Kaion, “A Study on Marine Acoustics”, J. Marine Acoust. Soc. Jpn., 99(1), 1-10 (20xx).
- 5) Kaion *et al.*, J. Marine Acoust. Soc. Jpn., 99(1), 1-10, (20xx).